

## 平成30年度 第2回明徳会虐待防止委員会記録

1 日時：平成31年 3月1日（金） 13：30～15：00

2 場所：ケア・ハピネス

### 3 出席者

家族オンブズマン	入所家族会会長	熊本槌彦 様
家族オンブズマン	通所家族会会長	玉城仁徳 様
家族オンブズマン	通所家族会役員	中島典子 様
社会福祉法人明徳会	理事長	樺嶋潤一郎
社会福祉法人明徳会	常務理事	樺嶋尚志
ケア・ハピネス	施設長	松村忠彦
社会福祉法人明徳会	副施設長	石井康就
チャレンジめいとくの里	入所サビ管	園田英樹
チャレンジめいとくの里	通所サビ管	福山勝弘
チャレンジめいとくの里	訓練サビ管	福田 悟
ケア・ハピネス	サビ管	村上 学
社会福祉法人明徳会虐待防止委員会	委員長	河上弥寿紀
	実習生	1名

### 4 進行内容

- 1) 開会 【13：30～13：35】  
(司会進行 石井康就)
- 2) 理事長挨拶 【13：35～13：40】  
(理事長 樺嶋潤一郎)
- 3) H30年度 前期苦情報告など 【13：40～13：50】  
(チャレンジめいとくの里通所サビ管 福山勝弘)
- 4) 虐待防止・権利擁護 報告など 【13：50～14：00】  
(委員会委員長 河上 弥寿紀)
- 5) 施設内見学 ケア・ハピネス各活動場所 【14：00～14：20】  
(案内者：村上サビ管)
- 6) 意見交換会 【14：20～14：40】  
(参加者全員)
- 7) 両家族会長より 【14：40～14：55】  
(入所家族会会長 熊本槌彦様・通所家族会会長 玉城仁徳様)
- 8) 閉会 【14：55～15：00】  
(常務理事 樺嶋尚志)

社会福祉法人 明徳会 家族オンブズマン評価表(チャレンジめいとくの里介護系)

NO	項目	気づき
1	<p>【環境 ハード面 目に見えるもの】</p> <p>施設の建物、活動スペース、居室、トイレ、食堂など プライバシー、人権、危険防止など 配慮されているでしょうか？</p>	<p>・お部屋に「〇〇さんの自傷・他傷の時間」なるものが貼ってありました。家族がみたら どんなにショックでしょうか。この個人情報のやかましい時期によくあんな表を作られるなどおどろ いて声も出ませんでした。ご本人が読まれたら大変なことですよね。いじめと思われても仕方 ありません。ご本人が何もわかっていないからと書かれたならこれもまた大問題です。中をみせ ていただけて良かったと思います。意識の低さを痛感しました。(中島様)</p>
2	<p>【環境 雰囲気 感じるもの】</p> <p>施設の雰囲気、明るさ、清潔感、健康的な生活空間 季節や生活の質の向上に向けた 環境に配慮してるでしょうか？</p>	
3	<p>【職員対応】</p> <p>職員はご利用者様に対して丁寧で適切な言動をしていますか？ 明るさ、声掛けなど優しさが伝わる対応が来ていますか？</p>	<p>・子供っぽく接しないでほしい。ちゃんとした大人として接してほしい。(中島様) ・年下なのに(ご利用者様より)その言い方はどうなのか。と思う時がある。(中島様)</p>
4	<p>【支援】</p> <p>活動や生活支援などの場面で ご利用者様が快適に過ごすことができるように 工夫や合理的配慮をおこなって 個々の特性に合わせた支援が行われていますか？</p>	<p>・皆がいる前や家族がいる前ではきちんと支援されているように見えるが、密室の場(トイレ・入浴) では、きちんと支援されているのか心配になる。(中島様)</p>
5	<p>【システム】</p> <p>職員間の情報共有や、権利擁護意識の向上に 向けた取り組みが来ていますか？ また、ご家族との連携や記録、苦情対応、 ご利用者様本位の体制づくりのシステムは構築されていますか？</p>	<p>・自分たち家族がマンネリ化した接し方をしていると感じた。(熊本様・玉城様) ・自分たちだったら5段階評価でどうつけるのか。自分たちも見習っていきたく感じた。(玉城様) ・苦情事例1を通して思ったことは、とっさに起こる事は難しい。次何が起こるのか分からない。 普段から起こる可能性を頭に入れておくことが必要なのかもしれない。(玉城様) ※権利擁護アンケートをご覧になったの感想。 ・5項目目の「言葉や身体的特徴を真似しません」という項目が5段階評価の「5」になっておらず、 そういったことをする人がいることが信じられない。どういう思いで付けられたのか気になる。(中島様) ・熊本弁で話しかけられた場合に熊本弁で返すなど、その方の話口調に合わせたような対応は見か けたことはあります。(理事長) ・支援をしていく中でその方のきつさを知る為に歩き方や姿勢を模倣してみて体への負荷を確認するこ とがあります。人によってはその姿勢を見て、真似をしていると受け取る人もいないかも知れません。話し方 やイントネーションなどは、波長合わせの技法として使うことがあります。(園田サビ管)</p>
6	<p>【その他】</p> <p>ご利用者様への声かけなど 家族オンブズマンからなど</p>	

実施日 平成31年 3月 1日 (金)